

## マニュアル

マニュアル中に、コンバータソースの構成と使用方法を紹介します。

二つ使用方法：

1： 入力フォルダと出力フォルダをコマンドで入力する。

例 EEG\_to\_edf('/Users/zhao\_xuyang/Matlab\_Project/test\_data/', '/Users/zhao\_xuyang/')

2： 入力フォルダと出力フォルダをGUIで入力する。

例 EEG\_to\_edf

-----ソースの構成-----  
 .EEG ファイルから .edf ファイルまでのコンバータソースは以下：

01, EEG\_to\_edf.m

02, test\_gui.m

03, blockEdfWrite.m

04, bst\_bsxfun.m

05, bst\_fileparts.m

06, bst\_fullfile.m

07, db\_template.m

08, file\_exist.m

09, in\_channel\_nk.m

10, in\_fopen\_nk.m

11, in\_fread\_nk.m

12, in\_fread.m

13, str\_date.m

14, str\_split.m

15, blockEdfLoad.m

01 と 02: 主関数と GUI 関数。

03 .edf データを生成関数、ダウンロード <https://ww2.mathworks.cn/matlabcentral/fileexchange/46339-blockeddfwrite?focused=3817793&tab=function>

04 ~ 14 .EEG data を読み込む、ダウンロード toolbox of Brainstorm にあります。

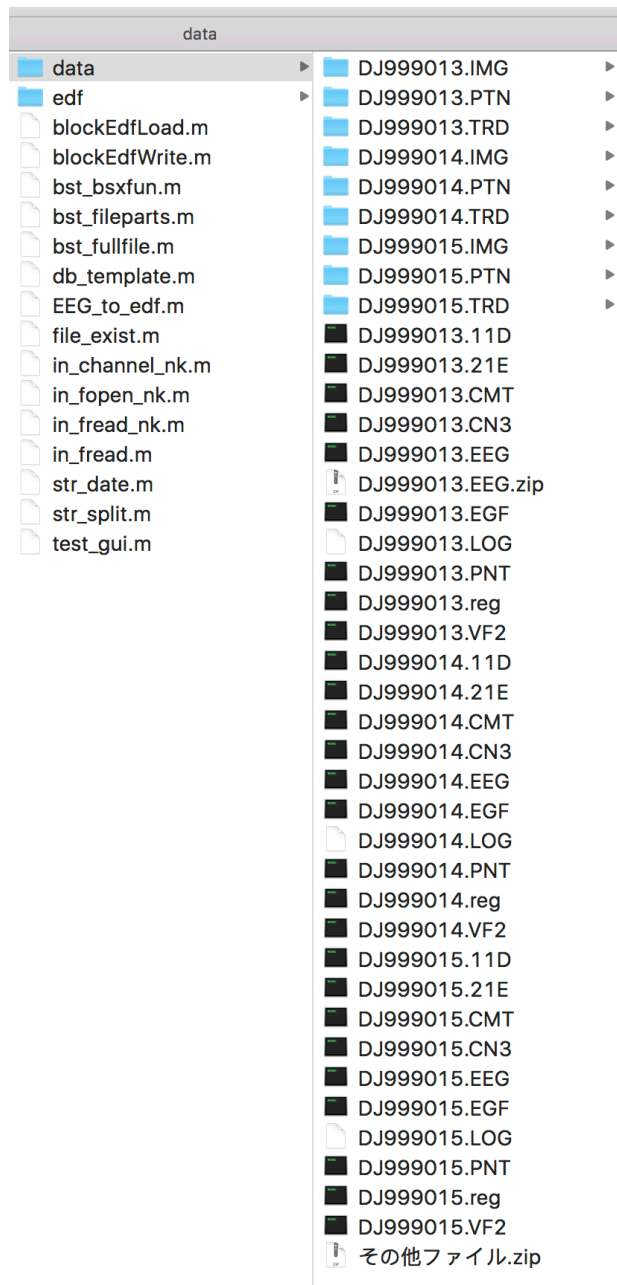
15 生成された .edf データをチェックするために、blockEdfLoad.m で .edf データを読み込む。ダウンロード blockEdfWrite.m 同じ [https](https://ww2.mathworks.cn/matlabcentral/fileexchange/46339-blockeddfwrite?focused=3817793&tab=function)。

## -----使用方法 コマンド-----

xxx.EEG ファイルをフォルダ（場所は自由）に置いてください、以下の Fig によるな。

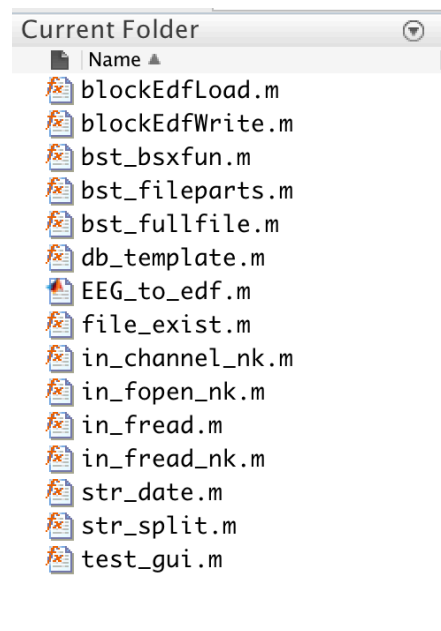
DJ999013.EEG.zip と その他ファイル.zip をunzip。

今回、テストため、DJ999013.xxファイルをコピーして、名前を変更で保存されます。



Matlabを開いてください。

Current folder を以下のような設定してください。



Command Window に

EEG\_to\_edf('.EEG data path', '.edf data path')

例: EEG\_to\_edf('/Users/zhao\_xuyang/Matlab\_Project/test\_data/', '/Users/zhao\_xuyang/')

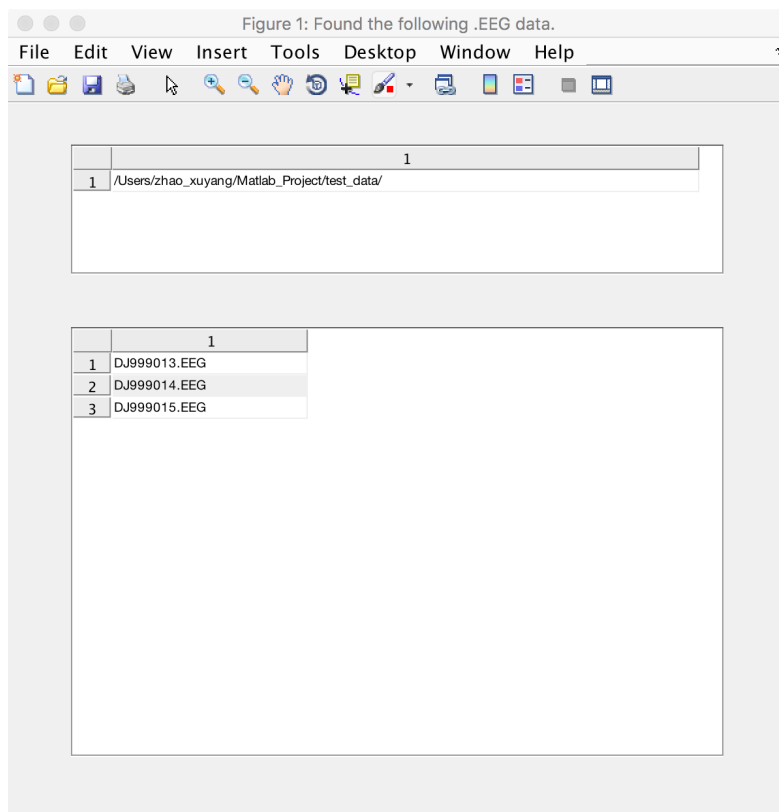
を入力して、enter キーを押してください。

```
Command Window
fx >> EEG_to_edf('/Users/zhao_xuyang/Matlab_Project/test_data/', '/Users/zhao_xuyang/')
```

GUI (Found the following .EEG data) を出ます。

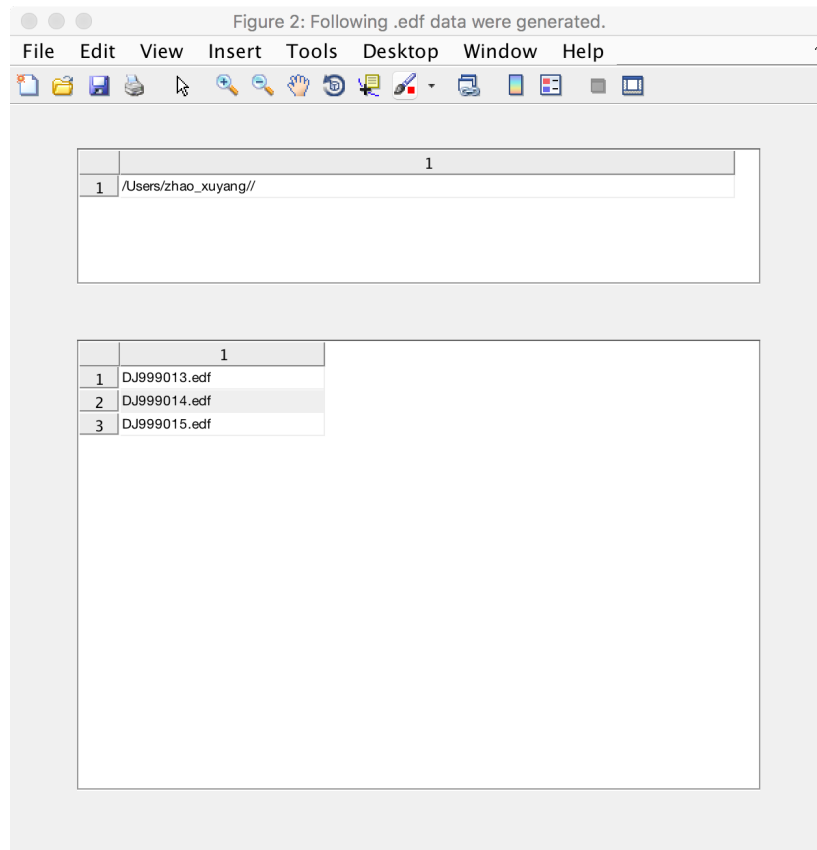
上の部分は、.EEG ファイルのパス。

下の部分は、見つけた .EEG ファイルのリスト。



.EEG ファイルの数量による、時間がかかります。  
GUI2 (Following .edf data were generated) を出ます。

上の部分は、生成された .edf ファイルのパス。  
下の部分は、生成された .edf ファイルのリスト。



```
Command Window
>> EEG_to_edf('/Users/zhao_xuyang/Matlab_Project/test_data/', '/Users/zhao_xuyang/')
Finished
fx>> |
```

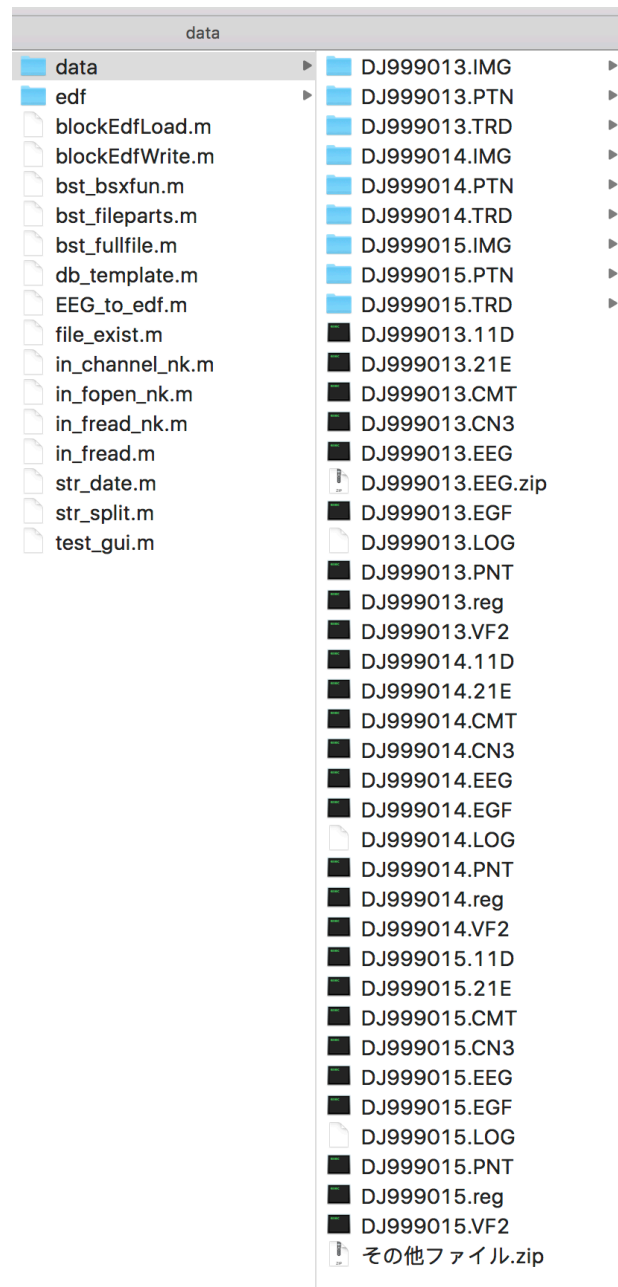
以上で、コンバータが終わりました。

## 使用方法 GUI

xxx.EEG ファイルをフォルダ（場所は自由）に置いてください、以下の Fig によるな。

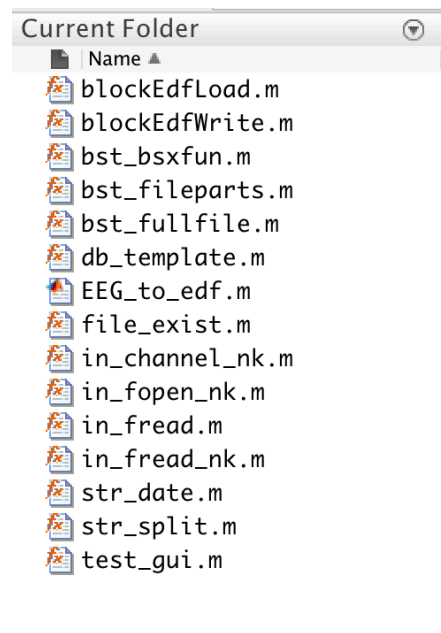
DJ999013.EEG.zip と その他ファイル.zip をunzip。

今回、テストため、DJ999013.xxファイルをコピーして、名前を変更で保存されます。



Matlabを開いてください。

Current folder を以下のような設定してください。



Command Window に

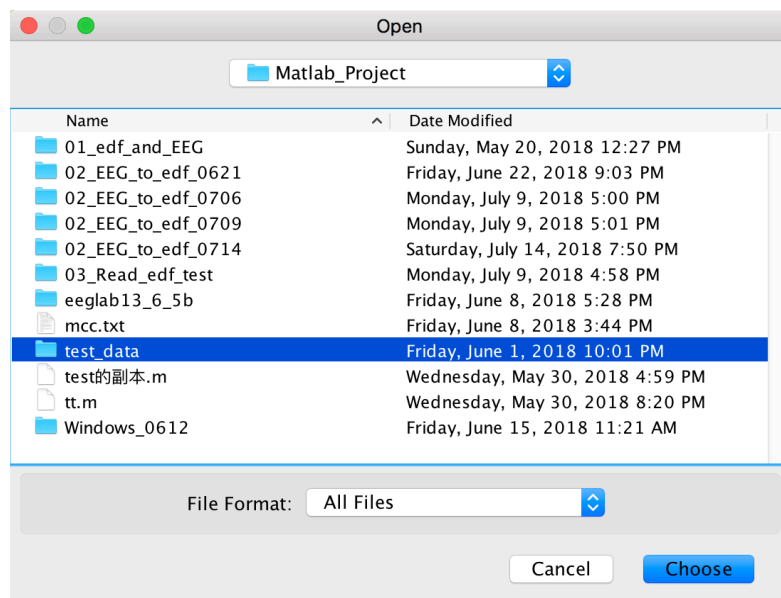
EEG\_to\_edf

を入力して、enter キーを押してください。



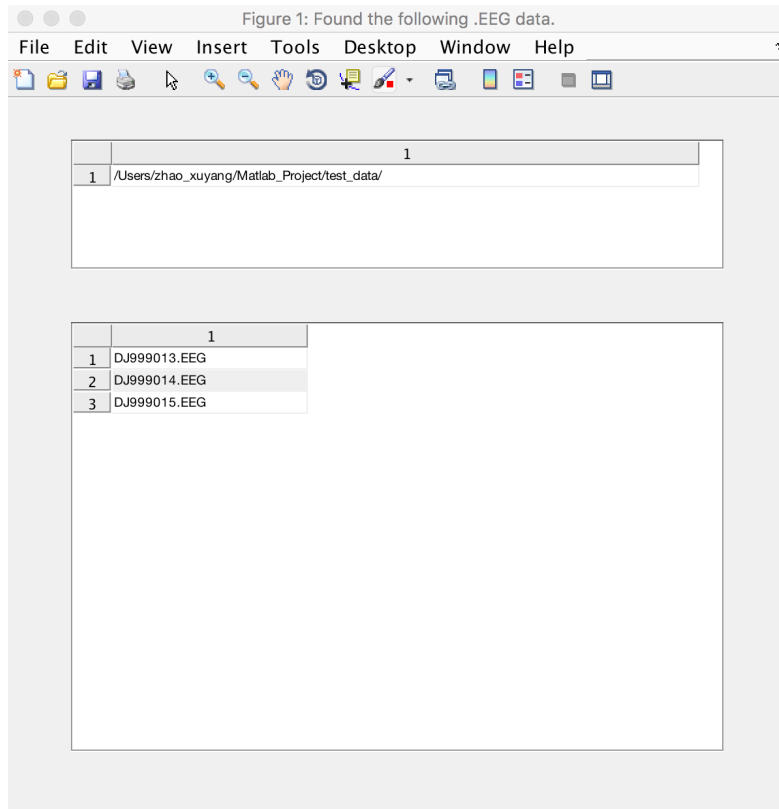
入力フォルダパス指定の GUI を出ます。

入力フォルダパスを指定して、choose キーを押してください。

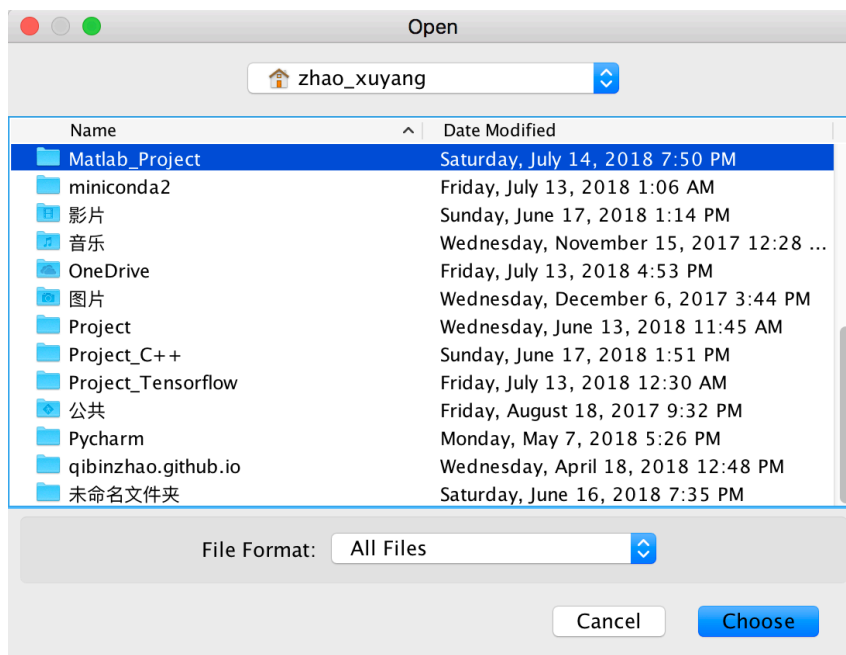




GUI (Found the following .EEG data) を出ます。  
 上の部分は、.EEG ファイルのパス。  
 下の部分は、見つけた .EEG ファイルのリスト。

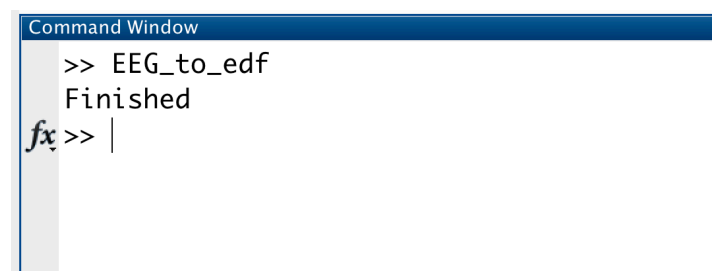
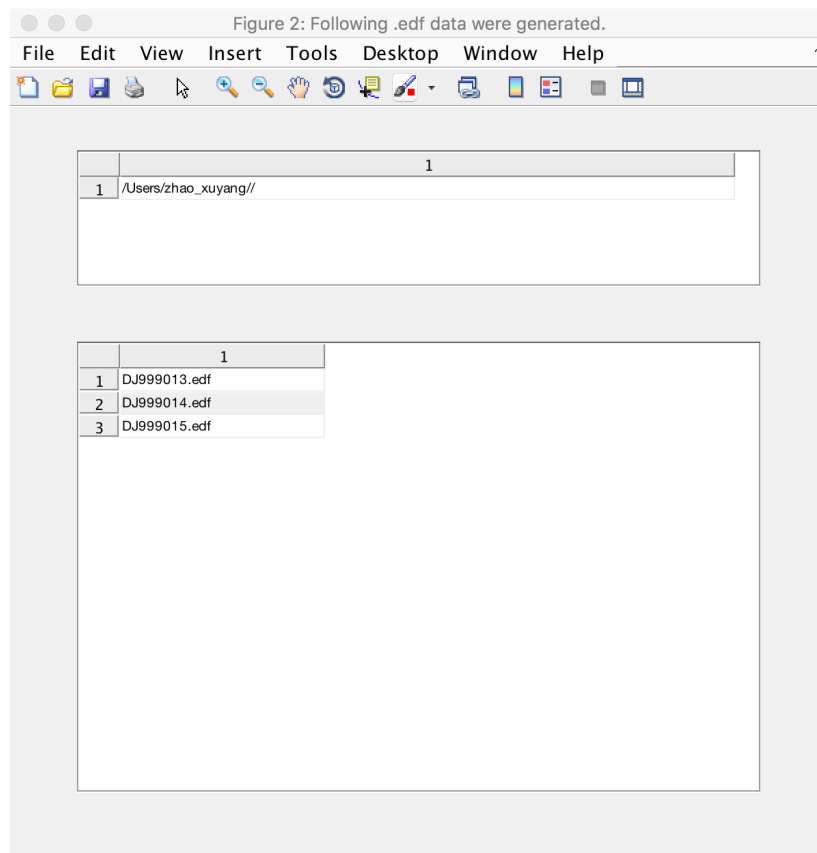


GUI (Found the following .EEG data) を出たら、  
 出力フォルダパス指定の GUI も出ます。  
 出力フォルダパスを指定して、choose キーを押してください。



.EEG ファイルの数量による、時間がかかります。  
GUI2 (Following .edf data were generated) を出ます。

上の部分は、生成された .edf ファイルのパス。  
下の部分は、生成された .edf ファイルのリスト。



以上で、コンバータが終わりました。

以下の環境を確認済み:

OS: 10.12.5

Matlab: 2018a